

# 今月の展示 「本について知ろう」

図書館にある本は多くの方が手に取るため、時には擦り切れたり壊れたりもします。

そういった場合にはさまざまな道具や材料を使って修理しますが、表には出ない作業なのでどんな事しているのか知らない人も多いのではないのでしょうか。

今回の展示では正真正銘の本の『中身』や修理道具など、図書館の裏側ともいべきものの一部を公開しています。

期間中は実際に修理途中の資料を展示しますので、毎日見ていると進捗状況が分かるようになっていきます。

触れて楽しめる展示物もありますのでぜひ手に取ってみてください。



## 修理に使う材料

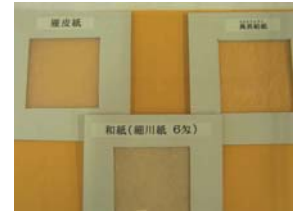
### ●和紙

図書館の本の修理には特殊な製本用テープのほか和紙を使用します。和紙は化学的に安定しており、また普通の紙に比べて繊維が長いので薄くても丈夫です。使う場所によって様々な厚みのものを使います。

典具粘紙…………… ページの破れ(とくに文字の上)

雁皮紙…………… ページの破れ・欠け

和紙(厚さ6知)… 背表紙などの動く場所や角の補修



### ●スバチユラ

金属製のヘラです。紙をはがすのに使ったりします。



### ●糊

「でんぶんのり」と「化学糊(PVA、ポリビニールアルコール)」を使っています。壊れたところをもう一度修理することもあるので、基本的には濡らせばまた剥がせる「でんぶんのり」を使い、背表紙など丈夫さの必要などところは「化学糊」と使い分けています。(でんぶんのりは復原しやすいので材料を展示しています。実際はこれを煮て糊にします)。



### ●修理用テープ

本のための特殊なテープで、酸を含まない紙素材と水溶性の糊で作られています。



### ●包帯

修理の終わった本は、しっかりと圧着するために包帯で巻いて固定することもあります。



### ●針と糸

バラバラになったページを縫いなおすのに使います。糸は製本用の丈夫な麻糸を使っています。



### ●保存用ボール箱

一見するとただの段ボール箱ですが、素材は特殊なアルカリ性のボール紙でできていて、紙から発する酸性のガスを吸着して箱の中の環境を改善し、保存性を高める仕組みになっています。(展示しているのはミニチュアです)



## 図書館の本困らせ隊

図書館の本、実はこんなことが苦手です



紫外線は表紙や紙の劣化を促進します



湿気や温度が高いとカビの原因に

本の中には紙が酸性なのでだんだんボロボロになるものも



虫、カビはページを食べてしまったり、紙を破損させて大きな被害につながります



埃や汚れは虫やカビのえさになって危険度アップ

書庫の空調や図書館の照明がちょっと暗かったりするのはこういった要因を減らすためなのです。

## 図書館の本 こんなことにも気をつけて



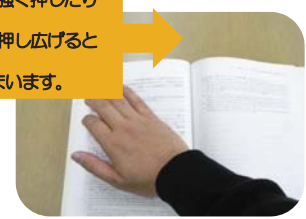
指を引っ掛けて取り出すと背表紙が切れる原因に。



水濡れ厳禁！館内では飲み物には蓋をしましょう。



コピーするときに強く押ししたりページを無理やり押し広げると本が壊れてしまいます。



本は意外とデリケート。やさしく扱ってね。

